

令和3年度第2回子ども・子育て会議（書面会議）意見まとめ

令和4年1月22日に開催する予定であった令和3年度第2回子ども・子育て会議の審議内容について、委員の皆様からご回答を下記のとおりまとめましたのでご確認ください。

1 地域型保育施設整備・運営事業者の選定報告について

意見なし 10名

意見あり 2名

ご意見と事務局の見解

○委員:チラシにはリトミックや英語などの保育内容が書かれており、0歳から2歳児の保育指針に則った保育をされているのか疑問に思いました。

事務局:奈良県と連携し、監査・指導を行います。

○委員:今後、会議で選定された事業所についての資料を添付する際は、小規模園でどのような保育をしようとしているか内容がわかるものを添付してください。

事務局:認定申請書（抜粋）を添付いたしますので、ご確認ください。

○委員:事業者については意見ありませんが、施設の場所が駅から少し離れています。

また、周辺道路の交通量が多く駐車しづらいのではと思いました。

事務局:原則、公共交通機関を利用するか徒歩とされていますが、送迎用駐車場を現時点で4台程度確保されています（あと数台分周辺で契約予定）。駐車時の安全確保については事業者に申し入れます。

2 地域型保育事業所の整備について

意見なし 5名

意見あり 7名

ご意見と事務局の見解

○委員:生駒市の3歳児未満の保育について、需要がどのように見込まれるか、就学前保育の構想が必要です。地域型保育事業については、すでに認可されている保育園、こども園、幼稚園の存続も含めた上での手段の一つです。できれば、一定の集団が必要で、0, 1, 2歳の保育

園で12人定員の園を設置することは、集団で学ぶことを意識し育ちの繋がりを考えると避けた方がいいと思います。例えば、小規模保育園として考えるなら、せめて19人は必要(6人×3年齢+α)だと思います。生駒市の子どもの成長を考えた上での方針を期待します。

事務局：本市でも少子化は進んでいますが、生駒駅及び東生駒駅周辺では、当面保育ニーズは高いと見込んでいます。集団での保育の質の確保のため、19人定員の小規模保育園を前提に公募を検討します。

○委員：待機児童の解消は大前提として、兄弟、姉妹は同じ施設に通えるように体制を整えてもらいたいです。施設を選ぶ上で、「通園のしやすさ」も大事な条件になると思います。

待機児童を減らすがために、「どこでも良いから入所させる」とはならないように考慮してください。

待機児童の増加の為に保育所を増設するという刹那的な対応でなく、長期スパンで保育者のニーズ、子どもが健やかに成長できる環境づくりを考えてください。

事務局：入所選考の際に、「きょうだい加算」として、1点を加算しています。しかし、施設としての受け入れの対応ができていないため、引き続き、保育ニーズの高い駅周辺等での整備が必要と考えます。また、同時に公私が更に連携し、市全体としての保育の質の向上に努めていく必要があります。

○委員：既存の施設を有効利用することを考え、他の都市の保育ステーションも考慮できないでしょうか。

事務局：今後、ステーション型を取り入れている他市の事例や市内の既存施設を活用した取組みが可能か研究する必要があると考えます。

○委員：児童育成クラブ施設については、実際に民間事業所を利用している他の都市に何うと高評価で、子どもにも人気があるとのことでした。

事務局：今年度の事業者から入所希望者の感想を聞き取り、令和4年度実施予定の公募に取り入れたいと考えます。

○委員：既存保育所・こども園では、特に0歳児については定員に達しないところもあると聞いています。3歳からの受け入れ施設のことも含めて検討してください。

○委員：こども園が増えるのは良いことだと思います。こども園の分園としての小規模保育園ができることも望みます。

事務局：3歳児からの受け入れも見据え、他市の事例研究や市内こども園との意見交換を行い検討したいと考えます。

○委員:保護者が保育を希望している地域を把握し、それに応じて施設の拡充を整備すること
は大変難しいと思いますが、全体を見据えての取組の充実を期待します。

事務局:保育ニーズの高い駅周辺では、物件も少なく難しい状況ですが、空き家情報なども
活用して検討したいと考えています。

○委員:児童育成クラブ施設についても民間事業者の確保は急務であると考えますが、車での
送迎が必要な場合の学校敷地内への乗り入れ等の問題も生じることが考えられます。施設と
学校との緊密な連携をお願いします。

事務局:今回の民間事業者は、送迎対応を考えていますので、安全確保の面からも学校との
緊密な連携を確立するよう指示し、こども課でも定期的に確認します。

○委員:「学校施設内ではこれ以上増やすことができないため民間事業者を募集」とありま
すが、生駒市内の幼稚園、保育園の施設を借用できないの难道うかと思います。

事務局:施設の区分けが必要ですが、園児数が減少している園では検討が可能かと考えます。

3 書面会議全般について

意見なし 6名

意見あり 6名

ご意見と事務局の見解

○委員:書面では読み取り方、受け止め方で齟齬が生じるため、また、質問もできないため、今
後はやり取りができる方法をとることを希望します。

○委員:「他人の意見を直接聞くことで自分も気づかされる部分が多い」ため、次回開催があ
るのなら、文書会議ではなく対面会議(オンライン会議)を希望します。

○委員:対面で質問の受け答えがあつてこそ内容が良くわかって理解できることが多いと思
います。

○委員:書面では会議の流れや背景が十分に読み取れないため、できれば対面での会議が望
ましいと考えます。COVID-19の影響もあり、困難な状況ではありますが、ZOOMを用いた
オンライン会議なども検討してください。

○委員:コロナ禍の中、リモートや書面での対応が増えていますが、フェイス トウ フェイスで
の会議が他の方の意見も聞くことができ、また、質問もできるので良いと思います。

事務局:今回、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、また、市内保育園・幼稚園へ
の感染拡大に対する対応が煩雑化したため、やむなく書面開催とさせていただきましたが、
今後このような状況になった場合は、いただいたご意見のようにリモート会議も検討させ

ていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、今回頂戴いたしましたご意見やご質問に対して、現時点での事務局の考え方等を記載させていただきました。

○委員：小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動はそれぞれのご家庭での教育の幅を広げ、選択できるのでとてもいいことであると思います。子どもを主体とし、子どもの成長をしっかり見守ることは、どの施設でも共通であってほしいと思います。事業という言い方よりも何かいいネーミングがあればいいと思います(プロジェクト etc.)。

事務局：「多様な集団活動」については、定期的に情報収集したり保育を見学したりするなどし、適正に保育されているか確認したいと考えます。「小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業」の名称については、子ども・子育て支援法をもとに、国で定められた「事業名」となっています。本市の「子ども・子育て支援事業計画」には様々な事業がありますが、各園・施設で独自に親しみの持てる名称を付けているものもあります。

○委員：いろいろな制度がありますが、保育が必要な保護者の方は理解しているのかと思います。たくさんの資料、パンフレットが必要な方に届いているのかいつも気になっています。

事務局：市のホームページやSNSをはじめ、こども課窓口や各施設で周知を図っているところです。今後も引き続き情報提供に努めて参りますが、何か良い方法があればご提案をよろしくお願いいたします。